

1 快適な都市空間の形成

●都市の骨格となる道路整備

- ・慢性的な交通渋滞の緩和を図る道路整備を推進しています。
- ・令和2年度は、大分市の（一）高崎大分線の改良工事が完了し、渋滞緩和に向けて、事業の進捗を図りました。



●道路空間の再生

- ・道路の拡幅や既存の道路敷内における幅員構成の見直し、歩道整備、バリアフリー化、電線類の地中化などを実施し、質的向上を推進しています。
- 令和2年度は臼杵市の（都）祇園洲柳原線の改良工事や大分市の国道210号の歩道橋撤去工事などを行いました。

●都市公園の整備

- ・長寿命化計画に基づき、老朽化した施設の改修を推進しています。
- ・令和2年度は、安全で快適なスポーツ空間を提供するため、大分スポーツ公園総合競技場・サブ競技場、大洲総合運動公園テニスコートの改修工事を行いました。

【目標指標】

指 標	基準値		R2年度			R6年度
	年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値
対策を講じる主要渋滞箇所数	H26	—	21箇所	20箇所	95.2%	30箇所
1人当たりの都市公園面積	H26	13.1㎡/人	13.5㎡/人	13.5㎡/人	100.0%	13.6㎡/人
都市内の街路整備延長	H26	502km	507km	507km	100.0%	510km

【指標による評価】

評価	理 由 等
概ね達成	(一)高崎大分線(御幸工区)の開通により、目標値を概ね達成した。
達成	整備水準の目安となる1人当たりの都市公園面積について、計画的な整備により目標値を達成した。
達成	計画的な整備により目標値を達成した。

2 潤いのある水環境の創設

●生活排水処理対策

- ・「大分県生活排水処理施設整備構想 2015」に基づき市町村と連携し生活排水処理対策を推進しています。
- ・下水道整備や合併処理浄化槽への転換を推進する市町村に支援しています。令和2年度は17市町に対して支援を行いました。
- ・整備に時間を要する下水道区域は浄化槽区域へ変更するなど、市町村に効率的な整備手法への見直しを促しています。令和2年度に実施した杵築市を加え、これまでに9市村で見直しを実施しました。
- ・広域化・共同化計画への検討を進めるなど、市町村が連携した事業運営や維持管理の効率化への技術的な支援などを行います。

●住民参加の水環境づくり

- ・地域住民が参加する生活排水処理対策等の水環境づくりを推進するため、啓発活動を実施しています。

●良好な河川・海岸環境づくり

- ・多様な生物が生息・生育する水辺の保全や復元、人と水とのふれあいの場の創出など、水辺環境の整備に努めています。

◆ 親水空間の創出 ◆



R3.7.25 田ノ浦ビーチ「マリンスクール '21」

◆ 小学校への出張教室 ◆ 【令和2年度実績 17校】



R2.6.30 明治小学校
(佐伯市)



R2.9.2 寒田小学校
(大分市)



R2.10.22 藤原小学校
(日出町)

【目標指標】

指 標	基準値		R2年度			R6年度
	年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値
生活排水処理率	H26	72.3%	81.3%	79.0%	97.2%	88.2%

【指標による評価】

評価	理 由 等
概ね達成	市町村に対して財政面での支援を行うなど、目標値を概ね達成した。

3 快適な住まいづくりの推進

●子育て・高齢者世帯に対する住環境の改善

こども部屋の改修や増築、浴室やトイレのリフォームなど子育て世帯や高齢者世帯向けのリフォームを支援し、子育て世帯の住環境の向上や高齢者の暮らしの安全確保を図っています。また、世代間で助け合いながら子育てできる三世同居や近居を希望する世帯が実施する住宅リフォームも促進しています。令和2年度は155件のリフォームを支援しました。

和室 改修前
畳敷き

改修後
フローリング

トイレ 改修前
和式トイレ
段差あり

改修後
洋式トイレ
段差解消

- 和室をこども部屋とするため、畳敷きをフローリングへ改修。
- トイレの床の段差を解消し、和式トイレを洋式トイレへ改修。

●県営住宅の改善

劣化の程度が大きいものについて、優先的に外壁や防水等改修工事を実施し、建物の長寿命化を図っています。

エレベーターの設置されていない県営住宅の1階部分の住戸において、浴室やトイレに手すりや給湯設備等を設置し、県営扇山住宅などで高齢者の利用に配慮したバリアフリー化の改善工事を行っています。

浴室 改修前

改修後
シャワー
手すり、非常呼び出しボタン

トイレ 改修前

改修後
手すり
非常呼び出しボタン

- 浴室の床をかさ上げして段差の負担を軽減し、手すり、給湯器、シャワー、非常呼び出しボタンを設置。
- 手すり、非常呼び出しボタンを設置。

【目標指標】

指 標	基準値		R2年度			R6年度
	年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値
県営住宅住戸内のバリアフリー整備戸数の割合	H26	31.2%	34.1%	34.6%	101.5%	35.0%

【指標による評価】

評価	理 由 等
達成	高齢者向け改善事業で住戸内のバリアフリー化を実現した。

4 「おんせん県おおいた」のツーリズム支援

●主要な観光地を結ぶ道路整備

- ・主要な観光地間を周遊するルートや、地域道路ネットワークを構成する主要な観光地へのアクセス道路について整備を進めています。
- ・令和2年度は、(主)宇目清川線(中津無礼工区)が開通しツーリズム振興に寄与しました。



(主)宇目清川線 中津無礼工区 (豊後大野市)

●良好な景観の保全・再生・創出

- ・本県の恵まれた自然景観や文化を観光資源として活かすため、主要観光ルートの防護柵の更新や支障木伐採を実施しました。

《景観に配慮した防護柵の更新事例》

別府一の宮線(九重町)



●おもてなしの道路管理

- ・観光地へのアクセスルートにおいて、道路案内標識の英語表記適正化(※1)や区画線の更新(※2)、防草対策(※3)を実施し、来県者が目的地まで分かりやすく、安全に運転できる道路環境の創出・維持に取り組んでいます。

※1 《道路標識の英語表記の適正化》



※2 《区画線更新事例》

国道213号(国東市)



※3 《防草対策事例》

国道213号(豊後高田市)



●観光施策等と連携した取組

- ・県が推進する「ツーリズム戦略」などの観光施策等と連携し、魅力ある道路環境の整備等に取り組んでいます。
- ・スポーツツーリズム支援として、別府一の宮線(九重町大字田野 延長約5km区間)において、路肩拡幅等による道路環境整備(トレーニングコース整備)を引き続き実施しています。

《道路環境整備の事例》 県道別府一の宮線(長者原工区)

